

平成26年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸地域政策研究フォーラム (支援期間：平成24年度～平成26年度)			
大学名	所属		氏名	
金沢大学	経済学経営学系／地域政策 研究センター 経済学経営学系 人間科学系 経済学経営学系 経済学経営学系 地域政策 研究センター		○佐無田光 平田透 神谷浩夫 武田公子 安嶋是晴 小熊仁 他	
富山大学	経済学部 経済学部 地域連携推進機構		○小柳津英知 松井隆幸 金岡省吾 他	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。				
その他の機関 の 構 成 員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	福井県立大学	経済学部 経済学部 地域経済研究 所	教授 教授 准教授	○北川太一 服部茂幸 井上 武史 他
	金沢学院大学	経営情報学部	教授	○竹味能成
成果概要	<p>本フォーラムは、北陸地域における地域社会経済に関する研究の推進と関係諸機関の情報の共有化、およびネットワークの構築を目的に2010年から活動を継続しているものである。</p> <p>平成26年度は経済教育学会春季研究集会との共催で、「北陸地域における地域研究ネットワークの形成に向けて」というテーマのもと、下記の研究報告会とシンポジウムを開催し、フォーラムメンバーを中心に3分科会、10件の研究報告と同数の討論者によるディスカッションが実施された。また、シンポジウムでは「地域と教育をどのように連携するか」との標題で、山根栄次経済教育学会会長が基調講演を行い、その後のパネルディスカッションでは、フォーラムメンバーと経済教育学会会員との議論が積極的に交わされ、新たな研究ネットワークの構築と研究者間交流の活性化がはかられた。</p> <p>第5回 北陸地域政策研究フォーラム in 福井概要 【開催日】平成27年3月28日(土) 【場所】福井市地域交流プラザ</p> <p>■ 研究報告会 <第1分科会> 1. 小柳津 英知(富山大学) 「機会費用と企業利潤の説明に関する問題点について」 2. 大坂 洋(富山大学)・炭谷 英一(神戸市消費生活マスター) 「職業者・消費者のための『意思決定』論 —人口減少社会・地域再生のための行動理論—」 3. 齋藤 哲哉(日本大学) 「経済学の求人から見た経済学プログラムの国際化」 4. 瀧波 慶信(福井県立福井商業高等学校) 「体験型課題解決学習の一例」</p> <p><第2分科会> 1. 南保 勝(福井県立大学) 「地域産業政策のあるべき姿を問う」</p>			

	<p>—域内（福井地域）経済特性の分析を通して—</p> <p>2. 山下 良平（石川県立大学） 「農業農村整備事業の経営的効果と社会的効果」</p> <p>3. 龍 世祥（富山大学） 「生活者が測った地域的共通価値」</p> <p><第3分科会></p> <p>1. 木野 龍太郎・徳前 元信・北島 啓嗣（福井県立大学） 「『福井経営モデル』の分析に向けての試論—経営学の視点から—」</p> <p>2. 江川 誠一（福井県立大学） 「福井県庁の移転・再配置から福井市中心部のまちづくりを考える」</p> <p>3. 山口 光男（福井大学 産学官連携研究開発推進機構） 「研究活動に貢献する大学リサーチ・アドミニストレーションシステムの考察」</p> <p>■ シンポジウム「地域と教育をどのように連携するか」 基調講演：経済教育学会 会長 山根 栄次 氏（三重大学） 実践報告：武山 良三（富山大学）、西村 貴之（金沢大学）、 桑原 美香（福井県立大学） コーディネーター：井上 武史（福井県立大学）</p> <p>なお、本フォーラムの開催にあたっては、運営委員で数回に及ぶ運営委員会を開催し、万全な運営体制が敷かれたほか、開催当日は内容を広く一般にも公開し、多くの市民からの参加を得ることができた。</p>
<p>獲得した外部 資金</p>	<p>該当なし</p>